

昭和48(1973)年8月

# 「美土里町役場」

(美土里町本郷)



その後、旧庁舎の建物は同60年代まであったようですが、今この場所はチェーンの着脱場となり、当時の名残りはありません。

同58年8月、約2km南東に離れた場所に新庁舎(現支所)が完成、移転しました。

庁舎は県道6号線に面し、道路を挟んで駐車場があります。右の白壁に瓦屋根の平屋は公用車の車庫です。左側は森林組合と農業共済組合の建物で、その後ろの2階建ての建物は1階が有線放送の交換室で2階が議場でした。

新庁舎の位置は、結局本郷の上河内地区に決定し、写真中央に写る木造2階建ての庁舎が建てられ、同34年3月30日に落成式が行われました。

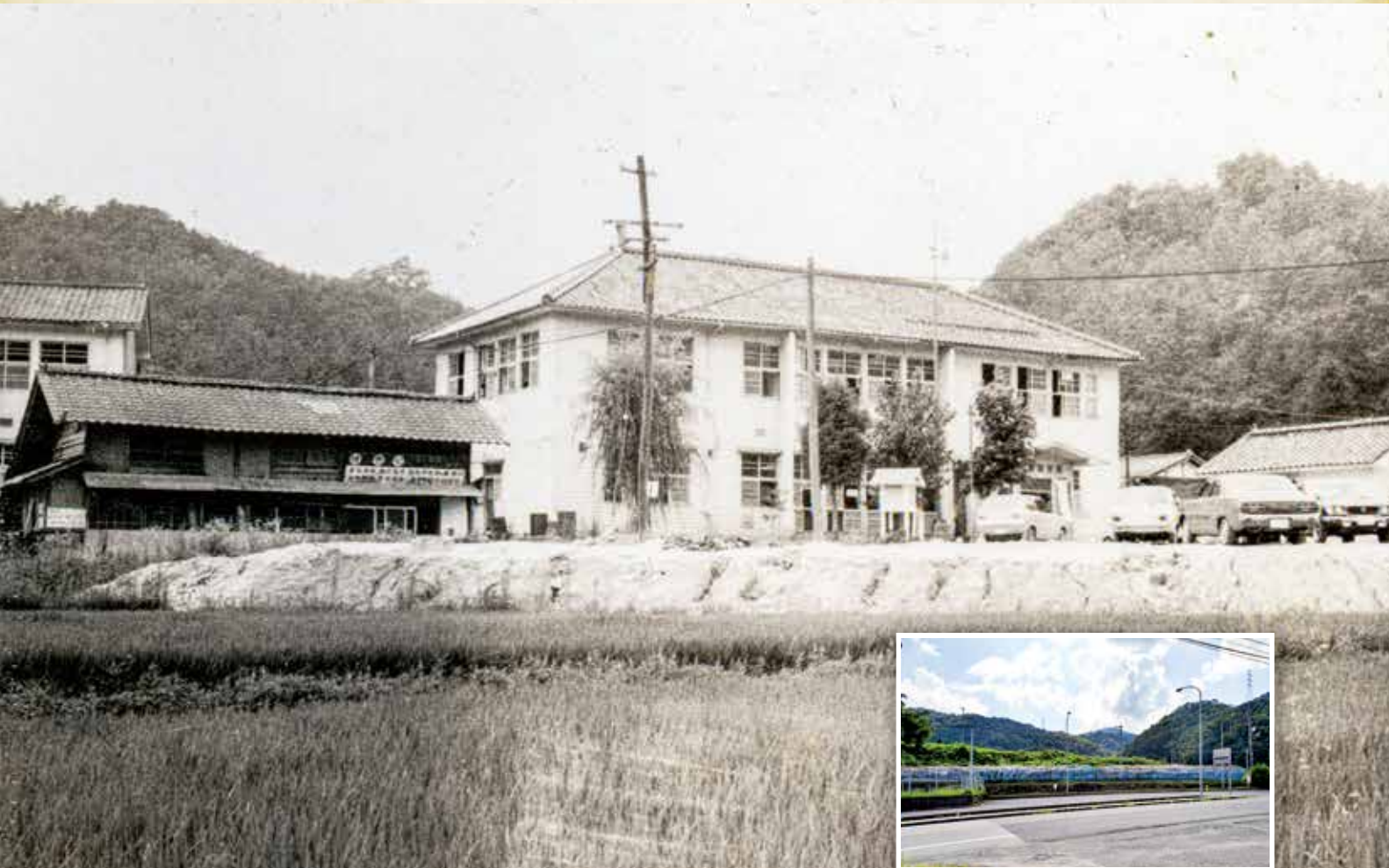
前回の八千代町役場に続き、今回は美土里町役場です。横田村・本村・北村・生桑村の4か村が合併して「美土里町」が誕生したのは昭和31(1956)年4月1日。当初は来原村(高宮町)を含める案もあったようです。町名の「美土里町」は公募の中から選ばれました。合併当初の役場は本郷と北に仮庁舎を設け半年ごとに本庁舎と支所を交代していたようです。

# 安芸高田 歴史紀行



安芸高田市歴史民俗博物館 学芸員 古川 恵子

## あの日の記憶は 写真の中にII[14]



現在の旧庁舎跡地

### 戦

国時代、15世紀後半から16世紀初頭にかけて、現在の邑南町から美土里町、高宮町一帯に勢力を伸ばしていた高橋一族。毛利氏をしのぐ勢力を持つ国人領主だった高橋氏は、やがて毛利氏との同盟関係を経て対立し、滅亡していきました。勝者の歴史に埋もれた高橋氏に、スポットを当てた企画展「芸石国人 高橋一族の興亡」が歴史民俗博物館で開催されます。古文書を中心とした資料から、高橋氏が勢力を拡大し、滅びゆく過程を検証し、生き残った一族のその後についてもひもときます。期間中は公開講座やロビートークなどの関連イベントも目白押しです。毛利氏に敗れた高橋氏の立場から歴史を見れば、あなたの知らなかったもう一つの安芸高田市の戦国時代が浮かんでくるはずです。

戦国初期(16世紀初め)の主な勢力図 ( --- 安芸高田市市境)



松尾城跡(美土里町横田)



### 歴史民俗博物館 企画展

## 芸石国人 高橋一族の興亡

〈開催期間〉

令和元年10月26日(土)～  
12月8日(日) 9時～17時

※休館日:月曜日(11月4日を除く)、11月5日(火)

〈場所〉歴史民俗博物館  
(吉田町吉田278-1)

〈入館料〉大人300円、小中学生150円

〈問い合わせ〉☎42-0070

### 関連イベントはこちら

#### 公開講座 「戦国期高橋氏一族の興亡」

日時/11月10日(日) 13時30分～15時30分  
会場/美土里生涯学習センターまなび (美土里町本郷4535-2)  
講師/秋山伸隆氏 (県立広島大学宮島学センター長)  
申込/不要

#### 公開講座 「毛利氏の山陰支配と高橋氏一族」

日時/12月1日(日) 13時30分～15時30分  
会場/クリスタルアージュ小ホール(吉田町吉田761)  
講師/長谷川博史氏(島根大学教授)  
申込/11月10日(日)から受付開始 定員80名

#### ロビートーク 「邑南町の高橋氏関係史跡」

日時/12月7日(土) 13時30分～15時  
会場/歴史民俗博物館(吉田町吉田278-1)  
講師/森岡弘典氏(邑南町郷土館長)  
申込/11月8日(金)から受付開始

#### 史跡探訪ツアーⅠ「生田城・猪掛城を巡る」

日時/11月9日(土) 13時～17時  
見学地/生田城(美土里町)、猪掛城(高宮町)  
案内/秋本哲治(安芸高田市教育委員会)  
申込/10月8日(火)から受付開始 定員20名  
参加費/2千円

#### 史跡探訪ツアーⅡ「松尾城を歩く」

日時/11月23日(土・祝) 13時～16時30分  
見学地/松尾城跡(集合場所:美土里支所前)  
案内/秋本哲治(安芸高田市教育委員会)  
申込/10月16日(水)から受付開始 定員30名  
参加費/無料

高橋一族の歴史に迫る  
博物館秋季企画展開催